

流行ニュース：

<ナイジェリアならびに西部・中央アフリカにおけるポリオ>

現在、ナイジェリア北部では、野生型ポリオウイルス 1 型 (WPV 1) の新たな流行が発生し、国際的な広がりをみせ始めている。2008 年に、WPV 1 に新たに感染した症例は、2007 年の同時期に比べ 9 倍増加していると報告された。この新たな流行は、2003-2006 年に発生したような、深刻な世界的流行を引き起こす可能性がある。今年度の世界の WPV 1 の症例のうち 86% をナイジェリアが占めている。

この流行は、ナイジェリア北部のポリオのハイリスク地域において、子どもの 20% 以上が予防接種を受けていないために発生している。2003-2006 年に起こったナイジェリア北部での流行は、全国のおよび世界的な広がりをみせ、結果的に、以前にポリオが根絶していた 20 ヶ国で再び発生し、遠く離れたインドネシアやイエメンでの流行を引き起こし、これら 20 ヶ国において 1,475 例のポリオ症例を引き起こす結果となった。

新型 WPV 1 は、ナイジェリア北部のウイルスと遺伝学的に関係がある。現在、そのウイルスは、ベナン (1 例、2008 年 4 月 17 日に麻痺が出現) およびニジェール西部 (1 例、ブルキナ・ファソおよびマリ国境付近の Tillaberry 地方で 2008 年 4 月 11 日に発生) で確認されている。ナイジェリア由来の WPV 1 は、2003-2004 年にかけて西アフリカを横断し、中部アフリカおよびアフリカの角にまで広がりをみせ、コートジボアール、ガーナ、ギニア、トーゴで再び発生した。ナイジェリア北部から世界的に広がった WPV 1 に加えて、ナイジェリア北部由来の野生型ポリオウイルス 3 型は、チャドで報告されている (最近発生した症例は 2008 年 4 月 13 日)。

ナイジェリア北部での集団発生の強さ、ポリオウイルス伝播の増加に関係する雨季の到来、2008 年後半に行われる Hajj (ハッジ) (サウジアラビアにある、メッカへの巡礼) による大規模な人口の移動によって、ナイジェリアからポリオの世界的な広がりが新たに起こる危険性が高まっている。そのためサウジアラビアは、メッカ巡礼者間でポリオ感染の危険性が高まっていることを通知している。

ナイジェリアは、2008 年 7 月と 8 月に、北部州で 2 度の大規模な緊急ポリオ予防接種を計画している。大規模なキャンペーンは、6 月 13-16 日に、ポリオ感染の危険性が高い地域およびそれに接するベナン、ブルキナ・ファソ、マリ、ニジェールにおいて行われ、7 月に追加キャンペーンを予定している。疾病サーベイランスは、2003-2006 年にポリオが再び発生した国を含む、感染の危険性がある国で強化されてきている。

<83 巻、2008 年、1 号-26 号までの索引> (WER 参照)

(永富宏明、法橋尚宏、松尾博哉)